

第3学年 道徳学習指導案

指導者 教諭 千葉 哲朗

- 1 日時 平成25年7月5日(金)第2校時
- 2 学級 上田中学校3年4組 男子14名 女子16名 計30名 南校舎3階3年4組教室
- 3 主題 「希望、勇気、強い意志」【1-(2)】
資料名 「早朝ドリブル」(出典 『中学道徳3 明日をひらく』東京書籍)

4 主題について

内容項目1-(2)は「より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ」ことを目指している。人間としてよりよく生きるには、目標や希望をもつことが大切である。「目標」には、必ずしも生涯をかけて達成するといった遠大なものだけでなく、身近で日常的な努力によって達成できるものもある。日常生活の中のほんの小さな目標であっても、それが達成されたときには満足感を覚え、自信と勇気が起こるものである。このような達成感は、自己の可能性を伸ばし、人生を切り開いていく原動力となる。そのことで、次のより高い目標に向かって努力する意欲を引き起こしたい。

本学級の生徒は、自分の考えをしっかりと持っているものの、積極的に発信しようとしにくい傾向があり、話し合いが深まりにくい。また、これからの進路実現に向かって目標をもって生活しているものの、理想通りにいかない現実や努力し続けることの難しさを感じている。生徒にとって身近な内容の資料にふれ、怠け心に流されてしまう人間の弱さは誰の心の中にもあることを感じながら、目標に向かっていく生き方を見いだし、生きることへの希望を育ませたい。

本資料は、怠け心に流される人間の弱さと向き合いながら、なんとかしなければとがく主人公の姿を描いた葛藤資料である。部活動を引退した主人公は、目標を見つけているのになかなか行動に移すことができずなんとかしなければと思いつつも踏み出せずに悩んでいた。ある日、後輩の練習につきあう中で一日一日を着実にこなしていくことの大切さに気づき、目標に向かって努力していこうと思うようになるという展開になっている。主人公が自分の生活態度を改善しようとする姿勢に焦点を当てながら、主人公の持つ弱い心や、希望を持って前向きに頑張ろうとする心は誰にでもあることに気づくようにさせていきたいと考える。

5 本時のねらい

「希望、勇気、強い意志」【1-(2)】

「より高い目標を目指し、希望と勇気を持って着実にやり抜く意志をもち実行しようとしている。」

6 本時の評価

道徳的心情	自分と向き合い、目標を持って生活しようとする姿を賞賛的にとらえている。
道徳的判断力	目標を持つことで、生活が充実することにつながることを理解している。
道徳的実践意欲・態度	より高い目標を目指し、希望と勇気を持って着実にやり抜く意志をもち実行しようとしている。 【生徒の記述例】 主人公が、意志を強く持って自分の生活を変えようとしたのは素晴らしいと思いました。また、毎日の積み重ねが大切で一日一日の生活を着実に努力していくことが大切だと思いました。私もこれから自分の目標に向かってあきらめず、努力し続けて進路実現に向かいたいです。

7 本時の指導構想

(1) 「教えて考えさせる授業」にかかわって

本時は、道徳的実践意欲・態度の「より高い目標を目指し、希望と勇気を持って着実にやり抜く意志をもち実行しようとしている。」を主にねらったものである。

①【説明する】…… 導入では、部活動のきつい練習を乗り切ることができたかを聞き、目標があるから取り組むことができたことを共通理解してから資料に入っていきたい。範読のあと、資料のあらすじを紙板書で確認する。

②【理解の確認】…… 「状況の把握」の過程においては、「生徒から主人公の行動についての感想を聞くことで、主人公の行動への理解状況をモニターする。ここでは、主人公の心の弱さの部分などが感想として出てよい。その中で、「岡君はそんなにやっているんだ。勉強しすぎて疲れない？」という主人公の言葉への感想から第1発問につなげる。

③【理解の深化】…… 「課題意識を高める」の過程において、主人公の「岡君はそんなにやっているんだ。勉強しすぎて疲れない？」と言った主人公について判断させるとともに、その根拠を問う。主人公の生活の状況をふり返りながら、心の弱さを生じさせる主人公の立場に共感させる意見を取り上げていく。その後、主人公を批判する意見を取り上げる。

「価値の追求」の過程において、後輩たちが部活動に熱心に取り組んでいる姿を見てわくわくする場面を取り上げ、今の生活が自分でもよいとは思っていないことや、自分も去年は部活動に一生懸命取り組んでいたときの気持ちを思い出し、何とかしたいと思いながらも一歩を踏み出させずに悩む主人公の気持ちを感じ取らせたい。

「変容契機をとらえる」の過程において、早朝ドリブル練習に取り組んでいる主人公が「『あわてず、あせらずリズムをつくれ。リズムをつくってゴールを目指せ』という自分の声が聞こえてきたのはなぜか。」という発問を問い、一樹が、これからすべきことがわかり希望が見えてきたことに気がつかせる。

「価値の把握」の過程において、「『あわてずあせらず生活のリズムをしっかりつくって一日一日を着実につなぐ』とはどういうことか」を問い、目標に向かって強い意志を持って着実に進もうとする一樹のこころは誰の心にもあることに気づかせたい。

④【自己評価活動】…… 意思を強く持ち、目標に向かって努力しようとする姿の良さに触れて記述されるとともに、自分の今の生活を振り返り、今後の実践につながるようなことを記述できるようになってほしい。

(2) 「表現すること」にかかわって

本時で大切にしたい「表現する」活動は次の2点である。

1点目は「『岡君はそんなにやっているんだ。勉強しすぎて疲れない？』と言った一樹をどう思うか。」を判断させる活動。判断とその根拠をそれぞれに発表させ、同じ判断であっても根拠の違いがあることを感じ取らせたい。

2点目は、自己評価活動である。1時間を通して感じたこと学んだことを今までの自分をふり返らせながらじっくりと記入させたい。

8 本時の展開

段階	過程	学習活動	期待する生徒の反応	指導上の留意点
導入 (10分)	状況の把握	※ 部活動などでつらい練習を継続して耐えることができるのはなぜかを聞く。 ※ 資料の範読	・自分の目標に向かって努力することができるため	・資料に対する共通理解をさせる。
展開 (30分)	課題意識を高める 価値の追究 変容契機をとらえる 価値の把握	※ あらすじの確認 ※ 感想を求める。 1 「岡君はそんなにやっているんだ。勉強しすぎて疲れない？」と言った一樹をどう思うか。 2 「気持ちがわくわくしてくるのを感じた」のはなぜか。 3 「あわてず、あせらずリズムをつくれ。リズムをつくってゴールを目指せ」という自分の声が聞こえてきたのはなぜか。 4 「あわてずあせらず生活のリズムをしっかりつけて一日一日を着実にこなぐ」とはどういうことか。	・部活動を引退し、すぐに勉強に切り替えのできない気持ちもよくわかる。 ・同じ高校を目指している岡君のやる気や周囲の友達の頑張る姿を見て不安な気持ちになるのはわかる。 ・切り替えができていない自分に甘え、皮肉を言ってごまかすのは良くない。 ・目標に向かって一生懸命頑張っている後輩を見て自分も頑張らなくてはと思ったから。 ・目標に向かって部活動に一生懸命取り組んだあの気持ちを思い出したから。 ・ドリブルと自分の今やるべきことが重なることに気がついたから。 ・気持ちばかりが先走っていたが、自分がどうすればよいか気がついたから。 ・目標に向かってあきらめずに着実に努力すること ・あわてず、あせらず一日一日を着実に生きていくこと	・主人公に共感させる意見と、自分の弱さに負けてしまっている主人公を批判する意見の両方を出させる。 ・後輩の姿を見て、目標に向かうことの素晴らしさを感じている一樹の心情に気がつかせる。 ・今の生活から抜け出せないでいる一樹がやるべきことに気づき、希望が見えてきたことに気づかせる。 ・目標に向かって強い意志を持って着実に進もうとする一樹の心は、誰の心の中にもあることに気づかせる。
終末 (10分)	自己評価活動	※ 価値について考えたことを記入、発表	主人公が、意志を強く持って自分の生活を変えようとしたのは素晴らしいと思いました。また、毎日の積み重ねが大切で一日一日の生活を着実に努力していくことが大切だと思います。私もこれから自分の目標をもち、あきらめず努力し続けて、進路実現に向かいたいです。	【道徳的実践意欲・態度】 より高い目標を目指し、希望と勇気を持って着実にやり抜く意志をもち実行しようとしている。

